



同窓会会報

発行
 福島成蹊高等学校
 同窓会
 福島市上浜町5-10
 電話（522）2049
 発行人 石井 都
 印刷所 ㈲三共印刷所



「母校の益々の発展を…」

同窓会会長 石井 都

（昭和41年度卒）

会員の皆様には、ますますご清祥のことと心よりお慶び申し上げます。

平素より同窓会並びに母校に対する温かいご支援に御礼申し上げます。

昨年二月二十八日同窓会入会式を行いました。毎年の事ですが、その凜とした佇まいに、いづれ会の運営に多大なる力を貸して下さいさるであろう

事を願ってやみません。

六月十一日、福島テルサにて総会を行いました。新幹事の六名の方の出席が会への感心の深さを表して居る様で、役員一同、議案の数々にも活気に満ちた総会になりました。又役員改選を行い、会計監査として、会にお力添え下さった渡辺八代さんが退任致しました。長い間ありがとうございました。

うございました。

暑さに見舞われた七月六日タイムカプセル開封式が行われました。二〇〇三年十一月十三日女子校のフィナーレを飾る埋設式から二十一年の年を経て当時を物語る貴重な品々を前に目を見張るばかりでした。そして翌年春から共学校になりました。

八月二日、学園初の試みとして、ホームカミングデーが実施されました。同窓会では同窓会室と資料展示室を開放して皆様をお待ちしました。幅広い年代の方々それぞれの

の学校生活を聞きながら、気分は、女子高生になってました。外の暑さに負けない程の青春の熱気に包まれたひと時でした。

会報の二ページの理事長・校長本田哲朗先生の「同窓生子女子息に対する経済的助成制度のお知らせ」に賛同しましたので、会員の皆様にも広くお知らせ致します。

母校の益々の発展に、皆様お一人お一人のお力添えが重要です。ぜひ、御協力をよろしくお願い致します。



平成16年度卒業アルバムより

目次

- 会長挨拶 P.1
- 理事長・校長挨拶 P.2
- 会務報告 P.2
- 一般会計報告 P.2
- 特集** **卒業から5年・10年・15年・20年の皆さんへ**
～先生方からのメッセージ～ P.3
- 同窓会総会開催報告 P.4
- クラス会開催報告 P.4
- 役員紹介 P.4
- タイムカプセル開封式・ホームカミングデー P.5
- キャンパスライフ P.6
- 同窓生の活躍 P.6
- 住所変更のお知らせ P.6
- 進路状況 P.7
- 資料展示室より P.8
- 新幹事紹介 P.8
- 総会のお知らせ P.8
- LINE公式アカウントのお知らせ P.8
- 事務局だより P.8



理事長・校長 本田 哲朗

『創立百十一年から先を見越して』

同総会会員の皆様方には、常日頃、物心両面に渡るご支援を賜り、衷心から厚く御礼を申し上げます。初めに、私こと本田哲朗は、三月十五日をもって諸般の事由から前高橋幸七理事長から理事長職を引き継ぐ事になりました。これまで会報を通じて接点を持たせて戴きましたが、本学園の隆盛に微力ながら尽力して参りますので、何卒宜しくお願ひ申し上げます。少子高齢化が一層進む中、我が国は、高

同窓生女子息に対する

福島成蹊中学校の経済的支援制度の設立について

等学校は元より中学校も選ぶ時代の最中に在ります。福島成蹊は歯止めの利かない社会経済的地域(SES)に因る格差に果敢に挑み、本県の人材育成に注力し、新たな価値の創造出来る実力有るヒトの教育に務めて参ります。初秋にはホームカミングデーで沢山のOG・OB諸氏にお会いできた事を、心から嬉しく思っています。是非、百十一年の母校の姿を見に来て下さい。

- 同窓会総会の際にも紹介致しましたが、本校は県内私立の中でも、県立名門校に劣らない進学実績を挙げて居ります。中でも医学部医学科進学者の半数以上女子が占めると言う、女子高の伝統に根付いた実績が特徴になっている所です。近年、中学校入学生に福島成蹊女子高等学校卒業生のお子息・息女が増えて来ました。これを踏まえ、同窓会員のご子息・息女対象の福島成蹊中学校入学者への減免制度①を設けましたのでお知らせ致します。
- ①次に該当する場合、入学時にかかる入学金17万円を全額免除致します。
(1)祖父母・両親・兄弟姉妹の中に福島成蹊中学・高等学校の卒業生が居る者。
(2)兄弟姉妹が本校に在学している者。
(1)・(2)とも、本人が本校を第一志望とし、合格時に本校入学が確実な場合
②経済的理由により修学困難な家庭への“授業料”の補助制度を新設しました。下記の条件を満たす場合、年間授業料46万円の4割を中学校3年間免除します。
※両親合わせた収入が合計500万円以下であり、別途本校の定める基準を満たす者。
※:①・②に該当する場合は、併用できますので宜しくお願い致します。

福島成蹊高等学校同窓会一般会計決算書

令和5年4月1日～令和6年3月31日

1. 収入金額 4,255,703 2. 支出金額 1,782,487 3. 差引金額 2,473,216 ※次年度へ繰越

収入の部

(単位:円)

項目	本年度予算額	本年度決算額	増減	適用
会費	2,076,000	2,046,000	△30,000	6,000×341人
運営協力費	95,494	95,494	0	4年度運営協力費より
預金利子	500	26	△474	普通預金利子
雑収入	200,000	20,000	△180,000	
繰越金	2,094,183	2,094,183	0	前年度より繰入
合計	4,466,177	4,255,703	△210,474	

支出の部

項目	本年度予算額	本年度決算額	増減	適用
事業費	800,000	211,104	△578,896	総会
会議費	100,000	22,202	△77,798	役員会、入学式等
会報発行費	200,000	207,350	7,350	会報第30号
協力費	300,000	286,284	△13,716	全国大会祝金、卒業記念品等
交誼費	50,000	17,088	△32,912	慶弔費
通信費	400,000	257,995	△142,005	郵便料
旅費	0	0	0	
事務費	200,000	75,864	△124,136	印刷費、事務用品等
特別積立費	600,000	600,000	0	
予備費	1,816,177	94,600	△1,721,577	創立110周年広告協賛
合計	4,466,177	1,782,487	△2,683,690	

特別積立金(令和6年3月31日現在) 5,076,121円

運営協力費(令和6年3月31日現在) 25,285円

上記帳簿及び関係書類について監査の結果正確であることを認めます

令和6年4月13日 会計監査 渡邊八千代 高橋 晴佳

会務報告

令和5年

4月8日	定例役員会 会報第29号発送
13日	会計監査
5月20日	定例役員会
6月11日	同窓会総会
7月8日	定例役員会
10月14日	定例役員会
11月25日	定例役員会

令和6年

1月20日	定例役員会
31日	新幹事顔合わせ
2月29日	同窓会入会式
3月1日	会報第30号発行



先生方からのメッセージ

卒業時に担任だった5名の先生にスポットをあて、今、成蹊高校で何をしているか、また卒業当時を思い出していただきひとことメッセージをお願いします。

平成31年度 3年6組 担任 齊藤純一先生

個性豊かなクラスでした。個性が強すぎたため、毎日何かしらの問題が起きていたような気がします。特に驚いたのは、台湾研修旅行より戻ってきてから、まさかの、ホテルの部屋のカーペットが水浸しになっていたことが判明したことです。なんという置き土産をしてくれたのだと当時はかなり衝撃的でした。ですが、やる時はやるというのがこのクラスの良いところで、それぞれが自分の進路を叶えるために最後まで一生懸命努力していたのを覚えています。私は現在、2年生の担任をしています。皆さんのような元気なクラスも今では懐かしい思い出です。また会いましょう。



平成31年度 3年2組 担任 和田理志先生

皆さん、まず最初に本当に、本当に申し訳ありません！5年前、一年目で担任になり、あの時「厳しい担任らしさ」を装っていましたが、内心は「どうしよう！」の連続でした。そんな中、直接文句も言わずちゃんと一緒についてきてくれたことが今思い返せば本当に感謝しています。

今は文理選抜コースで担任をまたやらせてもらっています。現在、僕も穏やかになり今はおとなしい教員になれたと思います。みんなのおかげです。いま社会人一年目や二年目であの時の僕の年齢くらいになったのかな。大人になったみんなの姿に会えることを楽しみにしています！



平成16年度 3年6組 担任 菊地 忠先生

皆さんが卒業されてから20年という時間が経過しました。私にとっては唯一の3年担任として見送った卒業生です。このクラスで思い出されるのは桃李祭での「和太鼓とタップダンス」で最優秀賞に選ばれたことです。納得いくまで向き合っていた皆さんの姿は今でも鮮明に思い出されます。発表の瞬間は私もつい声を出し涙してしまったことを覚えています。現在は教頭として日々悪戦苦闘しています。皆さんが健康で幸せな日々を送っていることを願っています。



平成21年度 3年6組 担任 鈴木智美先生

結婚式に呼んで綺麗な花嫁姿を見せて下さった人、高校時代親元離れて頑張っていた姿を思い出しながら嬉しくなりました。可愛いお子さんを抱っこさせてくれて、「先生が子育てとお仕事両立させて私たちの担任して下さいたことを思い出しながら、私も両立できるように頑張ります。」ととても嬉しいお手紙をくれた人、お手紙は大切に保管して時々読み返して元気をもらっています。夢を叶えて映画製作のお仕事をして頑張っている人、あなたの名前を映画館のスクリーンで見た時、嬉しくて涙が出ました。皆さんのご健康と活躍これからもお祈りしています。



平成26年度 3年10組 担任 明珍真由美先生

お元気ですか。3の10は運動が得意な人、絵が上手な人、パソコンが得意な人、手先が器用な人など、個性豊かで皆の存在感が大きく、いつも広い教室が狭く感じられるクラスでした。あのアンパンマンのクラTはまだみんな持っていますか？沖縄もいろいろと大変でしたが、今となっては良い思い出となっています。さて、卒業してから10年、自分の人生を楽しんでいますか。きっと社会人としていろいろな立場で、活躍していることでしょう。これからも、豊かで幸せな人生を歩んでほしいと願っています。



同窓会総会

去る六月十一日に同窓会総会が行われました。

出席者の中には卒業されたばかりの若い方々の姿もあり、役員一同、とても嬉しくなりました。

学園・学校からは来賓として理事長・校長先生にご出席をいただき、活動計画案や予算案などの審議が行われ、可決されました。

また、役員改選も行われ、一名の方が退任され、新たに三名の学内同窓生が役員として活躍いただくことになりました。

総会参加の皆様にも、お弁当をご用意しました。総会終了後、お弁当を食べながら、会場で同窓生同士で久しぶりの再会を楽しんでいるテーブルもありました。

今回は、多くの同窓生の皆さんに参加いただけるよう魅力ある総会運営に努めていきます。



退任役員

前会計監査

渡邊八千代

(昭和48年度卒)



福島成蹊高校百周年記念事業の前年度よりお手伝いさせて頂いていただきました。活動に携わって『成蹊高校』の素晴らしさを改めて痛感致しました。昭和・平成・令和とデジタル化が進む中ではありますが人と人との結びつきが最も大切だと気づきました。今後の同窓会活動の益々のご発展を心よりご期待申し上げます。

クラス会

山田 秀実 (昭和48年度卒) 高校を卒業して五十年、

恩師金子昭七先生をお招きし、令和六年七月二十一日穴原温泉溪苑花の瀬で同級会を開催しました。

親の介護や病気等で出席できない人もいましたが、十六名の参加をいただき、久しぶりの再会に時間のたつのも忘れ、大いに盛り上がりました。高校時代にタイムスリップするのに時間はかかりませんでした。

金子先生より、現在の学校の様子を聞き、私達の時とは、大分変わってしまったなあと母校に感慨深いものを感じました。

佐藤 典子 (昭和55年度卒)

九回目のクラス会を開催しました。五年毎のクラス会はずがコロナの影響で七年ぶりとなりました。残念ながら担任の長澤先生の参加はなりませんでしたが、二十四名の元気なおばさん達が集まり昔話やら近況報告やらで盛り上がりました。次回開催は三年後の六十五歳十回目の予定です。



昨年、母校は創立百十年を迎えたとのこと、誠にありがとうございます。あの時、出逢えた、かけがえない仲間、またの再会を約束し散会しました。ありがとうございます、すばらしい仲間達。

役員

顧問

丹野 リン (昭和21年度卒)

益田 幸子 (昭和28年度卒)

上枝 治代 (昭和22年度卒)

齊藤 ヨシ (昭和23年度卒)

浅野 良子 (昭和36年度卒)

須田カヨ子 (昭和41年度卒)

小林 征子 (昭和35年度卒)

山科 直枝 (昭和53年度卒)

副会長 石井 都 (昭和41年度卒)

会長 千葉 良彦 (平成21年度卒)

会計監査 大槻 芳恵 (平成7年度卒)

高橋 晴佳 (平成16年度卒)

書記 関根 綾子 (昭和55年度卒)

矢吹はる香 (平成9年度卒)

齋藤 綾子 (昭和61年度卒)

渡邊 愛 (平成17年度卒)

幹事長 瓶子恵理子 (平成4年度卒)

常任幹事 鈴木 徹 (平成18年度卒)

穴澤あすか (平成18年度卒)

事務局 唯木 祐人 (平成21年度卒)

和田 理志 (平成23年度卒)

善方 勝也 (平成23年度卒)

末永 誠徳 (平成24年度卒)

福地 春香 (平成27年度卒)

中澤 太郎 (平成27年度卒)

大河内拓海 (平成28年度卒)

齋藤 崇浩 (平成30年度卒)

2003
11.13
IN



2024
7.6
OPEN

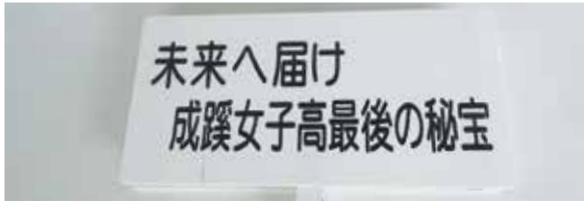
タイムカプセル開封式

島田 幸（平成16年度卒）

「わあ！」という歓声の中、二十一年ぶりに開封されたタイムカプセル。一気に当時の記憶が蘇りました。「二十一年後の自分の名字」を予想して友人と笑い合った日々が懐かしいです。手紙の返却を目的に同窓会を開催し、「こんなこと書いたの覚えてない！」「授業中に書いたのか」と笑いが絶えませんでした。このような素晴らしい機会を設けてくださった関係者の皆様本当にありがとうございました。これからも成蹊高校のさらなる発展を心より願っています。

佐戸川 侑希（平成16年度卒）

久しぶりの母校は楽しみでもあり少し緊張もしていましたが、懐かしい方々に一瞬で高校時代に戻ったようでした。忘れてしまっていた部分もありましたが、開封しお喋りが盛り上がるうちに懐かしさや思い出が蘇りました。当時は開封式でどんな気持ちになるのか想像もできませんでしたが、思い出と一緒に当時の高校生らしい一生懸命さや未熟さも感じる事ができ、なかなか味わうことができない貴重な時間となりました。ありがとうございました。



8月2日(金) ホームカミングデーが行われました



ホームカミングデーは、卒業生が母校に戻る機会を作り、本校の魅力を多面的に発信することを目的として開催されました。オープンスクールとコラボし、タイムカプセルの展示、カフェ出店、授産品販売、クジ引き、キッチンカーでの飲食販売を行い、またオリジナルキャラクターである「ももまる」を募集しました。

（鈴木祥之先生）

甚野 絵美（平成17年度卒）

数年ぶりに母校の門をくぐると、懐かしい思い出が込み上げてきました。変わらない校舎、花壇、体育館、靴箱、変わったのは生徒としてでも、教員としてでもなく卒業生という立場。成蹊を卒業してから教員として母校に戻った私は、結婚出産を経て親となり、子供を連れて今回参加しました。お世話になった先生方や旧友との再会。埋めたタイムカプセルとの対面。久しぶりに「高校生」の自分に戻り、成蹊の「仲間」と時間を共有でき、有意義な時間となりました。「母校は成蹊と言え誇り」を感じる事ができるホームカミングデーだと感じました。

菅野 瑛一（平成22年度卒）

私が学んだ当時はプレハブ校舎があり、特別進学コースと普通コースの二コース体制でした。卒業から十三年、教育実習から十年が経ち、現在は立派な南校舎があり、文理選抜コースが増えて三コース体制になるなど大きく変わっていました。担任の長南先生をはじめ懐かしい先生方にお会いすることができました。一方で東畑先生や服部先生などが退職されて時の流れというのを感じました。これから回を重ねることに参加者が増えていくと思います。クラスメイトや退職された先生方とも会えるような機会になれば嬉しいです。ありがとうございました。



同窓生によるキッチンカー



在校生によるカフェ出店



タイムカプセルの展示



同窓会室にたくさんの同窓生があつまりました

キャンパスライフ



福島大学 人文社会学部 人間発達文化学類 特別支援・生活科学コース
天沼 優花 (令和5年度卒)

長年興味のある特別支援について学び、肢体不自由や知的障害に関する心理や生理を深く学べることに喜びを感じています。サークル活動では演劇に加入し、最近はおカペラにも挑戦中です。夏はフィリピンを訪れ、SDGsを学び、現地の小学校や大学を見学し貴重な経験をえました。素敵な友人に恵まれ、学びも遊びも全力で楽しんでいます。



都留文科大学 文学部 英文学科
西田 小春 (令和5年度卒)

私は現在、英文学科で英文学や英語教育法についての勉強に励んでいます。大学は高校よりも自由度が高い分、自分で目標を定め行動していかないと得られるものが少ないです。私は大学に入って、自分から行動することの大切さを実感し、留学生のサポートをするチューター活動をしています。留学生と関わる中で英語力を伸ばしたいと思いはじめたものの、今ではただの留学生ではなく大切な友達になりました。日々新しい人、考え方と出会いながら成長し、充実した学生生活を送っています。



大阪成蹊大学 経営学部 スポーツマネジメント学科
谷口 紗菜 (令和5年度卒)

私は現在、スポーツを支える立場として専門的に学んでいます。現場経験豊富な先生方から幅広い知識を学べるほか、プロスポーツクラブでの実習や企業の方を招いた講義など、実践的な学びの機会も豊富です。部活は女子陸上競技部に所属し、元オリンピック選手の監督と尊敬できる先輩、同級生に恵まれ、充実した日々を過ごしています。

同窓生の活躍

小室 志穂 (平成6年度卒)

私は福島トヨタ自動車(株)に入社して二十四年になり、現在は福島笹木野店の店長を仰せつかり七年目になります。高校卒業後に製造関係に就職しましたが、六年後にリストラに遭い、以前から興味のあった営業の道に進みました。初めは苦労ばかりでしたが、お客様が私から車を購入していただく事にやりがいと感謝の気持ちで、今まで頑張ることが出来ました。そして、特に私の心の支えは、高校時代のソフトボール部の監督菅野治先生と仲間の存在が大きく、一生の仲間がいることに感謝してもしきれません。ぜひ、今年は治先生も一緒に集まり想い出話をしたいと思います。

保科 隼希 (平成28年度卒)

私は聞こえない世界(聴者)と聞こえない世界(ろう者・難聴者)を繋ぐ「手話通訳」という仕事で、東京を中心にフリーランスとして活動しています。進学した亜細亜大学で偶然出会った手話の授業をきっかけにこの道に進みました。ろう者と聴者が共生するための手段としての役割が大きいと感じており、お互いにとって必要な存在になれるよう意識しています。

二〇二五年十一月には、大会百年の歴史で初めて日本でもろう者・難聴者のための国際大会「デフリンピック」が開催されます。福島県ではサッカー競技が開催されるので、大会成功の一助になれるよう頑張っています。



ホームページから住所変更ができるようになりました

ホームページでは、同窓会からのお知らせや、同窓会報のバックナンバーもご覧いただけます。また、ホームページから住所変更ができるようになりました。ぜひご利用下さい。

毎年、宛先不明で多くの郵便物が戻ってきてしまっています。

住所及び連絡先等の変更をされた場合は、お手数ですが、すみやかに同窓会事務局にお知らせいただけますよう、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。引き続き、郵送、電話、FAX、メールでも受付いたします。

下記のURLまたはQRコードよりホームページへアクセスいただけます。



<http://www.f-seikei.ed.jp/hs/classreunion.php>

令和6年度進路状況

進路部部长 加藤 貴義

早いもので令和6年度も終わりに差し掛かりました。令和六年四月に卒業し早速社会の一員として日々の仕事にまい進する卒業生、大学などを経て社会人となった卒業生達にとつて、母校のそして社会の先輩である同窓会会員の皆様はきつと心強い存在であると思ひます。今後も変わらぬご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ致します。さて、本年度も多く生徒が高校三年間の努力を果らせ、第一志望の企業、大学、専門学校等から内定・合格を頂くことが出来ました。これも皆様のご支援のおかげと感謝しております。誠にありがとうございます。社会情勢が大きく変わる中、福島成蹊高校も必要な変化はしながらも生徒一人一人が人間を大切にする人間となるよう桃李の精神を忘れず教育活動に取り組んでまいります。今後も生徒たちの希望進路実現にお力添え賜りますようお願い申し上げます。

令和6年度進路状況

令和7年2月14日現在(一部の学校のみ記載)

Table with 4 rows: 大学 (198名), 短期大学 (16名), 専門学校 (59名), 就職内定者 (22名). Each row lists the number of graduates and the names of the institutions or companies.

令和5年度進路実績

令和6年3月31日確定版(一部の学校のみ記載)

Table with 6 rows: 国公立大学 (62名), 文部科学省所管外学校 (12名), 私立大学 (370名), 短期大学 (33名), 専門学校 (94名), 就職内定者 (28名). Each row lists the number of graduates and the names of the institutions or companies.

